

vol.419

特集

世界の潮流となった 「SDGs」 中小企業経営も、 その実践が今や必須に！

～知らないとチャンスを逃す「SDGs」初めの一步～

新シリーズ

かながわAREAネットワーク

第1回 小田原支部

健康通信 vol.2

職場で感染者が出た場合の対応

かながわPOWER

株式会社ケイテックデザイン

SCHEDULE

※日程変更の可能性もあります。 e.doyuをご覧ください。

 マークの行事はどなたでも参加できます。参加ご希望の方は事務局までご連絡下さい。TEL 045 (222) 3671

10月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
			1 仏滅 正副代表理事会 県央支部幹事会 広報委員会	2 大安 新入社員フォローアップ研修会 横浜商科大学講義 政策委員会学習会	3 赤口	4 先勝
5 友引 たま田園支部幹事会 相模原支部幹事会 川崎支部幹事会 県南支部幹事会	6 先負 56部会経営指針 湘南支部幹事会	7 仏滅 横浜ブロック幹事会	8 大安 政策委員会学習会 青年部会幹事会	9 赤口 横浜商科大学講義	10 先勝	11 友引
12 先負 小田原支部幹事会	13 仏滅 56部会経営指針	14 大安 理事会	15 赤口 中同協役員研修会 横浜中央支部例会  県南支部例会 	16 先勝 横浜商科大学講義 たま田園支部例会 	17 先負	18 仏滅
19 大安 横浜ブロック会議	20 赤口 56部会経営指針 湘南支部例会 	21 先勝 小田原支部例会  横浜みなと支部例会 	22 友引 人を生かす経営全国交流会 求人WG会議④ 県央支部例会 	23 先負 人を生かす経営全国交流会 横浜商科大学講義 川崎支部例会 	24 仏滅	25 大安
26 赤口	27 先勝 財務委員会 組織委員会 同友会を知る為のオリエンテーション 	28 友引 相模原支部例会 	29 先負 横浜北支部例会  女性部会	30 仏滅 横浜商科大学講義	31 大安 56部会合宿	

11月

MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT	SUN
						1 赤口
2 先勝 たま田園支部幹事会 川崎支部幹事会 県南支部幹事会	3 友引 文化の日	4 先負 横浜ブロック幹事会 湘南支部幹事会	5 仏滅 求人委員会 正副代表理事会 政策委員会 県央支部幹事会	6 大安 相模原支部幹事会	7 赤口	8 先勝
9 友引 小田原支部幹事会	10 先負 56部会経営指針	11 仏滅 理事会	12 大安 求人委員会	13 赤口 女性部会幹事会 横浜商科大学講義 ダイバーシティ委員会例会	14 先勝	15 仏滅 横浜ブロック一泊三役会 →
16 大安 横浜ブロック一泊三役会 →	17 赤口 56部会経営指針	18 先勝	19 友引 第32回かながわ経営カンファレンス  求人委員会	20 先負 横浜商科大学講義	21 仏滅	22 大安
23 赤口 勤労感謝の日	24 先勝 56部会経営指針発表会	25 友引	26 先負 求人委員会 組織委員会 同友会を知る為のオリエンテーション 	27 仏滅 横浜商科大学講義 人を生かす経営協議会	28 大安	29 赤口
30 先勝						

世界の潮流となった「SDGs」 中小企業経営も、 その実践が今や必須に！

～知らないとチャンスを逃す「SDGs」初めの一步～



写真左が「鈴廣かまぼこ株式会社」代表取締役副社長 鈴木 悌介氏、右が神奈川同友会代表理事 「株式会社エイチ・エス・エー」代表取締役 田中 勉氏

SDGs（エス・ディー・ジーズ Sustainable Development Goalsの略）という言葉がさかんに聞かれる今日この頃です。これは2015年9月に国連サミットで採択された「持続可能な世界を実現するための開発目標」のこと。17のグローバルの目標と、169のターゲット（達成基準）から構成されています。“地球上の誰一人として取り残さない（No one will be left behind）”と宣言し、途上国・先進国に関係なく2030年までに達成することが目標に掲げられています。1番目の「貧困をなくそう」に始まる17の色とりどりの図柄を目にしたことがある方も多いのではないのでしょうか。

ところで、我々中小企業では、いったいどれだけの「SDGs」を身近に捉え、自社ごととして積極的に取り組んでいるのでしょうか？大企業だけのことだと考えている方も

多いのではないのでしょうか？

しかし、世界の潮流は確実に「SDGs」を基準に進み始めています。中小企業もその潮流に乗ることが、経営の継続と拡大に欠かせないことになってきています。

そこで、今回は「エネルギーから経済を考える SDGs実践編（扶桑社刊）」の著者であり、「一般社団法人エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」（2012年発足。2019年現在全国の中小企業経営者の会員約400名）の代表理事を務める「鈴廣かまぼこ株式会社」代表取締役副社長 鈴木 悌介氏に、「SDGs」に関して中小企業が今後どのように取り組んでいくべきかを、田中 勉代表理事と共に訪問してお話を伺いました。

大企業だけのことではない 中小企業にも リスクとチャンスの両方がある

2011年の東日本大震災、昨年日本各地で起きた洪水や台風被害、そして、海外でも中国での洪水など地球温暖化問題、環境問題は人種や地域を越え、先進国・途上国にかかわらず地球上全ての人の問題となってきました。そこで、注目されているのが「脱炭素」です。炭素の量と気温の上昇は正比例していることがわかっていますが、2015年に国連で採択され、昨今日本でも注目されているのが「SDGs」です。これにより、新たな枠組みやルールへの取り組みが、少しずつ世界中で実行され始めています。そこで、この考え方をしっかり理解し実践していくことが、グローバル企業だけでなく中小企業にとっても大きなチャンスや機会になると考えられています。

「私が最初にSDGsについて知ったのは、確か3～4年前のことでした。実は、その時はまだ、『国連がきれいごとを言っている。グローバル企業が心配すればいいことなのではないか。』と、思っていました。その後、学ぶ機会があり、中小企業にとってもとても大切なことだということがわかってきました。そこには、リスクだけでなく、チャンスや機会があるからです。最近の海外企業との取引にはSDGsに取り組んでいる事を条件とした契約が増えてきているそうです。ということは、SDGsへの取り組みがチャンスを生むだけでなく、取り組んでいないと契約できないというリスクも生じてきています。当然、下請けの中小企業にもSDGsへの取り組みが要求されます。」と鈴木副社長。

中小企業にとっても、すでにSDGsは大企業だけのこと、他人ごとではないのです。

「当社でもまだそんなに誇らしげなことをしているわけではありません。」と、謙遜するが、「エネルギーに関していうと、私はすでにSDGs的な視点でやってきています。」と、鈴木氏。

震災の翌年には「エネルギーから経済を考える経営者ネットワーク会議」を設立し、次いで湘南電力株式会社の設立に助力するなど、地域で再生可能エネルギーをつくり地域経済の活性化を図る事に尽力しています。そして、2015年の本社社屋建設には、ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）を採用しました。井戸水を利用して熱交換した、電力を使用しない冷暖房を採用し、太陽光パネル及び蓄電池利用はもちろん、太陽光を鏡で複雑反射させた電気を使わない明かりを取り入れるなど、画期的な本社社屋が建設されました。地元小田原



「鈴廣かまぼこ株式会社」代表取締役副社長 鈴木 悌介氏

産のヒノキを使用し、森林の活性化にも貢献しています。

異常気象ではなく、気候変動 まずはその認識が大事

「SDGsには色々な項目がありますが、チャートにする前の英語の原文を読み込んでいくと、底流として流れているのは気候変動だと思われまます。17の項目の中の一つでもあります。実は気候変動はSDGs全体をカバーする大きなテーマだと考えています。

SDGsと気候変動は、実は根っこは一つです。そして、SDGsから関連しているものに、ESGがあります。これは、UNEP金融イニシアチブで2000年頃に企業の株価形成にはESG、つまり環境（Environment）、社会的責任（Social）、企業統治（Governance）の3要素が重要なマテリアルになってきていると述べたレポートに由来するものですが、企業の株価に影響するとなれば、経営者も無関心ではられません。そういうキーワードを一つ一つを見ていくと、本当に中小企業も真面目に取り組まないといけないという思いをどんどん強くしています。」

その上で、小田原箱根商工会議所会頭でもある鈴木氏は、「地域を挙げて」という視点で大切なのだと語ります。

「地域として商工会議所として、今年度初めて気候変動をテーマに掲げました。地域の中小企業の役割と責務とは何でしょうか？必要とされる商品とサービスを提供し、雇人を創り、給料を払い、税金も払うことで地域の経

済の支えをし、地域の暮らしの基盤を支えていくことだと私は考えています。だから私たち中小企業が元気にならないと地域が元気にならないし、地域が元気ならないと私たちの商売は発展しません。元気に地域作りは中小企業が元気がんばれる環境作りなのです。

しかし、人口減で高齢者が増える中、以前の高度成長のような規模の経済拡大は難しい時代になっています。だとすれば、やはり地域で回すお金を増やしていくこと、その回るスピードを上げていくことが重要になってきます。そこで、自社でも、会頭を務めている小田原箱根商工会議所でも、そのことを最大・最優先のテーマとして取り組んでいます。そして、今年はその新たに気候変動というテーマを加えました。」

去年の秋、箱根は台風19号で大雨が降って登山電車が流され、観光が大打撃を受け、大変な損害・被害を受けました。

「ところで、最近の異常気象って何でしょう？あれは気候変動そのものでしょうか？例えば、台風は、昔はフィリピン沖で発生したのですが、それが今は日本のすぐそばで発生していたり、勢力が衰えないまま上陸したりと、これらは日本沿岸の海水温の上昇が原因と言われています。ここ数年来の雨の降り方を考えても、地球環境が変わってきているということを、この地域の人々も肌で感じています。もし、これが気候変動だとすれば、すでに地球の裏側の話ではありません。自分たちの今日の生活に影響すると感じている人が多いと思うのです。」

それ故に、地元商工会議所の会頭でもある

鈴木副社長は、地元小田原から、気候変動について発信し始めています。

「令和元年、小田原市は内閣府地方創世推進事務局よりSDGs未来都市に選定されています。また、環境省からは地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業の活動団体（全国で35団体の一つ）に選ばれています。そこで、前市長が2050年にCO₂排出ゼロを宣言しました。

しかし、SDGsは行政が発信すればいいというものではなく、住民からも、経済界からも、こぞってやらなければいけないものだと思っています。

そこで、商工会議所の中で、若手のメンバーを中心に、気候変動のタスクフォースを作り、議論をし始めています。まずは、会員に対して、関連するSDGsの正しい認識を持ってほしいという啓発活動を考え、皆さんが関わられるような具体的なプログラムを用意しました。そして、まず『自分の会社はこんなことをします!』という宣言をしてもらい、良い例については表彰する計画をしています。実は、今年5月会員大会でキックオフをする予定だったのですが、新型コロナウイルスへの対応でできませんでした。今、10月27日にキックオフのイベントを、今度はリアルとウェブのハイブリッドでやろうと準備しているところです。小田原市長と箱根町町長、それに小田原市議会や箱根町長議会、小田原市自治会総連合などと一緒に、気候変動ワンチーム宣言をしようとしています。

行政も市民も商売人もぜんぶ集って同じ認識を持つということが大切だと思っています。他の地域の取り組みは行政主導がほとん

どなので、おそらく小田原が全国初だと思うのですが、地域で宣言を出す準備をしています。具体的な取り組みは、まだこれからですが…。今年是小田原における気候変動キックオフの年にしようと考えています。」と、鈴木副社長は熱く語ってくれました。

小田原では、すでに地域一丸となったSDGsへの取り組みが始まっているようです。

実は、鈴木副社長は2017年12月に外務省が主催した気候変動に関する有識者会合（全8名）の委員に招集されています。

「自分はエネルギーや外交に関する専門家ではないので躊躇したのですが、私のような一介の地方の中小企業経営者は一人もメンバーに加わっていませんでした。それなら自分が参加する意義があると気づき、参加することにしました。世界の潮流を知る外務省から、エネルギー問題を含む気候変動について、しっかりとした意見を発信することを期待されたと思ったからです。その際に言われたのが、『ポジショントークはしないで欲しい。あくまでもデータとファクトに基づいた客観的な議論をして欲しい。』ということでした。翌年2月にエネルギーに関する意見書を、2018年4月に気候変動全体の提言書を発表しました。」

その結果、今年初めて、エネルギー政策の主管官庁である経済産業省が3年ごとに見直しているエネルギー基本計画の中に、再生可能エネルギーを主力電源と位置づけるという文言が入っています。

これらの経験を基に、今後は気候変動というテーマを日本の大きな潮流にしていきたいと鈴木副社長は意気込みます。

世界のバリューチェーンから取り残されないために

「中小企業だからとSDGs、ESGに取り組んでいないと、今後は大手の入札にも影響します。」と、鈴木副社長は警鐘を鳴らします。

「欧州に商品を売っている大手企業の話を見ると、中小企業は無関係ですとは全く言えません。大手から仕事を受注する中小企業も、大手の入札条件に関係してくるからです。すなわち、中小企業もSDGsに取り組んでいないと、今後は商売に入っていけなくなる時代になるということです。世界のバリューチェーンから外されてしまうかもしれない死活問題なのです。

しかし、残念ながら日本の中小企業の経営者の中には、SDGsという言葉は知っているけれど、自社の死活問題なのだという意識がほとんどない方が多いようです。その点では、私と田中さんとは、SDGsに対する認識度や見方は一致しているのではないかと思います。」

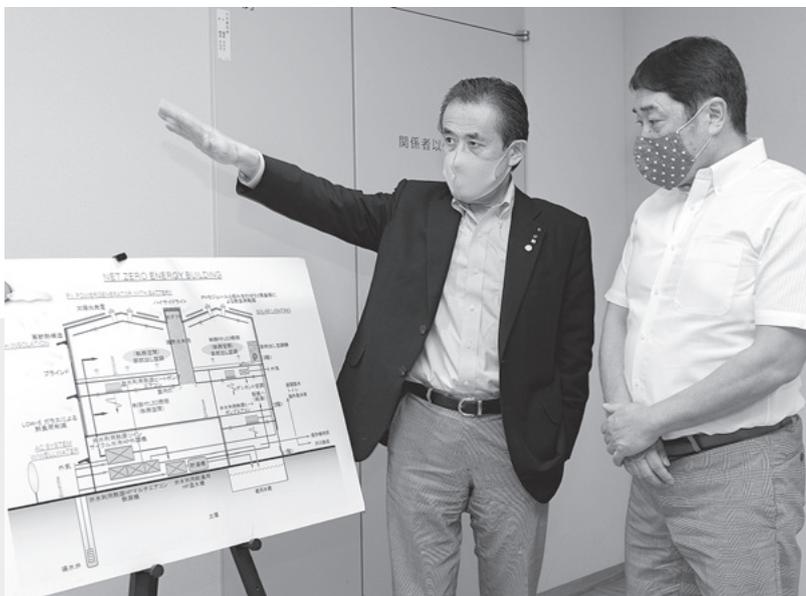
「まさにこれからだと思っています。以前、再生可能エネルギーを活用した地産地消電力を供給している湘南電力の取り組みを見学させていただき、大変感銘を受けました。我々が今できることを周知させていきたいと思っています。」と、田中代表理事。

では、鈴廣かまぼこ株式会社では、どのようにSDGsに取り組んでいるのでしょうか？

「まずは社員に理解してもらうために、勉強会をやっています。講師をお招きして、研修会や色々なワークショップをやっています。9月から始まる新年度の経営計画にも、



ZEB（ゼロ・エネルギー・ビル）を採用した本社社屋



2015年に完成した本社社屋のエネルギー仕様について説明する鈴木氏



「本社建設には、地元小田原産のヒノキを使用しています。」と語る鈴木氏



本社の照明設備には、太陽光を鏡で複雑反射させた自然光照明を採用しています

気候変動のことが盛り込まれています。SDGsは明日の商いを左右する重大事です。しっかり取り組まないとビジネスが難しくなる。同時にしっかり取り組むことでビジネスチャンスにつながります。」

では、同友会の企業は具体的にどのように取り組んだら良いのでしょうか？SDGsの初めの一步を鈴木副社長に伺いました。

「当社もまだまだこれからなのですが、推進室のような部署を作ってしまうと、その部署だけがやるみたいになってしまうので、それはやめた方が良いでしょう。SDGsはあくまで本業の中でやっていかないとけません。例えば各社の経営計画などで、これはSDGsの何番になるかと意識をしたり、言葉にするとところから始めてはいかがでしょうか？そうして少しずつ社員の意識と行動を変えていくのが良いと思います。

すると、次の段階では、外に向かって『当社はSDGsのこの項目を実践しています』と発信しやすくなります。SDGsは世界共通の言語なので、こうすることにより、中小企業が世界に通じる言語を得る事になります。上手に使ってあげれば良いですね。そして、それがお客様の問題解決や社会的貢献につながっていくのであれば、自社の仕事の付加価値を大きくし、商売にとってプラスになります。従って、積極的にどんどん発信をしていく方が良いと思います。」

「社会的意義と価値ある仕事をした時に、世界共通言語でSDGsの何番ですということが堂々と言えるということですね。それは、社員のやる気にも繋がっていくと思います。

同友会小田原支部は会の中では小さい支部ですが、同友会では県をあげてSDGsに取り組んでいます。鈴木副社長が会頭を努めてい

らっしゃる小田原箱根商工会議所と何か協力し合えることがあれば、今後はタイアップしてやっていきたいな、というふうに思います。」と、田中代表理事。

それに対し、鈴木副社長からは、「同じエリアで、同じ中小企業の経営者で、同じようなことを考えているのだとすれば、もっと今まで以上に交流があってもいいのではないかと思いますね。トップレベルの会談や交流だけでなく、色々なレベルで幅広い交流ができるといいですね。」というお返事がかえってきました。

地域でお金を回すことで地域が発展する

ところで、鈴木副社長は、「消費者の意識も地域で啓発していかなければならない。」と言います。

「ヨーロッパの地方都市では、日本と比べてシャッター通りが少なく、チェーン店の数も少ないと聞いています。チェーン店の出

店を規制しているわけではなく、地域の住人がちゃんと地域の店舗で買い物をするので、結果として、ある程度の数以上のチェーン店は経営的に成り立たないようです。

私は、『朝ごはんのパンをどこで買いますか？』と、よく質問をしています。私たちは普通にいつも開いているコンビニでTVのCMで知っているナショナルブランドのパンを買います。決して悪いこと、非難されるべきことではありません。が、しかし、同じ商店街に地元のご夫婦が地元の粉を使い、天然酵母で作っているパン屋があるとしたら、10回のうち何回かはその小さなパン屋さんで買いませんか？ということなのです。ヨーロッパでは、自分たちが使ったお金がどこに流れて、最終的に自分にどう返ってくるのかということ、子どもの頃から教えられているそうです。地域経済の活性化を考えると、自分たちのお金の使い方を考えることはとても大切です。今後は、地域のため、自分のために、お金はどこで使うかを考えるという消費者への啓発活動を行うことも必要になってくるのではないのでしょうか。」

地域のシャッター街は、決して他人ごとではありません。地元の経済が成り立つことも意識したお金の教育や啓発活動が、今求められているのかもしれない。SDGsの話は、地域経済の話へ、そして、お金の使い方の啓発活動の話へと発展していきました。

まずは、SDGsの実践から。自社ですで行っていることをSDGsに当てはめると何番になるのか、ということから始めてみてはいかがでしょうか？案外、すでにいくつもの項目に当てはまっているのかもしれない。



会議室には、地下水を熱源とするヒートポンプマルチエアコンと、電気を使用するエアコンの2つの壁付けリモコンが設置されています

(取材・文/ODCatalyst 本木和子)



中小企業デジタル化応援隊

IT専門家とIT化支援希望の中小企業を募集

政府はコロナ対策の一環として、中小企業・小規模事業者の様々な経営課題を解決する一助として、デジタル化・IT活用を掲げています。そこで、中小機構では、デジタル化・IT活用の専門的なサポートの充実を図るため、フリーランスや兼業・副業などの人材を含めたIT専門家を「中小企業デジタル化応援隊」として選定し、その活動を支援する取り組みを、2020年9月1日に開始しました。

一方、デジタル化やITに悩む中小企業も併せて募集し、デジタル化を促進したい中小企業とスキルを生かしたいIT専門家をマッチング・支援しています。

対象となるのは、デジタル化課題の分析・把握・検討、テレワーク・Web会議・ECサイト・キャッシュレス決済・セキュリティ強化などのIT導入に向けた支援のためのデジタルコンサルティング等の“準委任契約に基づく支援”が対象です。(コンテンツ制作やデザイン請負契約については対象外)

この事業では、要件を満たす支援提供を実施したIT専門家に對して、最大3500円/時間(税込)の謝金が事務局から支払わ

れるため、依頼した中小企業側は通常の時間単価から最大3500円/時間(税込)を差し引いた金額で、専門家からデジタル化推進のための支援を受けることができます。ただし、IT専門家の時間単価は、中小企業側とIT専門家の契約により決定され、中小企業は実費負担が最低500円/時間(税込)であることが謝金支払い要件になっています。

IT専門家、中小企業共に、募集期間は2020年9月1日～2021年1月31日(支援事業実施期間は2020年9月1日～2021年2月28日)です。

この事業は、企業の規模、業績に関係なく、中小企業であれば利用できますので、この機会にデジタル化・IT化を気軽に相談・推進してみたいかがでしょうか？また、IT関連事業者は、販路開拓のチャンスになるかもしれません。

〈文/ (有) マス・クリエイターズ 佐伯和恵〉

●中小企業デジタル化応援隊事業

<https://digitalization-support.jp/>

健康通信

vol. 2



職場で感染者が出た場合の対応

新型コロナウイルス感染症の世界的流行は拡大の一途を辿っており、感染者は世界全体で2,100万人を超え、死者数は77万人に迫っています(8月15日時点)。国内においては5月に感染者数が減少に転じたのを受け、5月25日に緊急事態宣言が全面解除となるも、その後7月より再び増加の一途を辿るようになりました。各企業では、職場で感染者や濃厚接触者が出ることが現実的な問題となりつつあります。

職場で感染者が出た場合、「感染した社員への対応」、「濃厚接触者への対応」、「職場の消毒」、「感染者の職場復帰」などの対応が必要となります。

従業員が感染した場合、保健所との連携が必要となります。スムーズな連携のため、職場としては感染者がいる部署の「座席表」、職場内の「接触者記録」を用意しておきましょう。接触者記録では、感染者の発症2日前からの会議・ランチ・会食などを共にした方を確認しておくことが重要です。なお、感染者本人は医療機関等の指示により、入院治療、もしくは宿泊施設か自宅での療養を行うことになります。

従業員が濃厚接触者と判断された場合は、保健所の指示に従い感染防止の措置を講じることが重要です。具体的には潜伏期

に相当する14日間は対人接触を避け、自宅待機・在宅勤務等を求めるようにしましょう。なお、濃厚接触者には全例PCR検査が行われますが、たとえ結果が陰性であっても14日間の自宅待機等は必要となります。PCR検査が陰性であっても、それは感染していないことを証明するものではないことに十分注意しましょう。

感染者が発生した職場の消毒ですが、保健所からの指示があればその指示に従いましょう。保健所からの指示がない場合は、最低1時間以上の換気を行った上で、感染者の執務エリア(感染者の席から半径2m程度の範囲を、アルコール消毒液(60%～95%)もしくは次亜塩素酸ナトリウム(0.05%)を用いて拭き取ります。また、トイレ、喫煙室、休憩室や食堂などの使用があった場合は該当エリアの消毒も追加実施します。なお、消毒担当者自身の感染防護のため、手袋・マスクを着用の上で行うようにしてください。

感染者の職場復帰の目安ですが、発症から10日が経過していること、および症状消失から3日が経過していることの2つを満たすことが重要です。また、復職後も1週間程度は、毎日の健康観察、マスクの着用、対人距離を2m以上保つことを徹底し、体調不良時には出社を控えるようにしましょう。

〈参考文献〉 日本産業衛生学会. 職域のための新型コロナウイルス感染症対策ガイド第3版.

WRITING

OHサポート株式会社・代表/産業医 今井鉄平
産業医科大学医学部医学科卒業。大手企業での15年以上にわたる専属産業医勤務を経て、2018年4月にOHサポート株式会社を開設、中小企業向けの産業医サービス提供を主業務としている。日本産業衛生学会専門医、医学博士。





※テーマ、会場等は変更の可能性がございますので詳しくはe.doyuをご確認ください。

横浜みなと支部

申込みはコチラ

10月21日(水)午後6時30分～

テーマ：星野流 笑顔と利益の作り方
～様々な個性を受け入れると働きやすい～
報告者：(株)スマイルワン 代表取締役 星野 斉氏
場所：中小企業センタービル (リアル&Zoom含)
会費：無料



湘南支部

申込みはコチラ

10月20日(火)午後6時30分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
報告者：(株)アシスト・ワン 代表取締役 小林淳一氏
場所：藤沢商工会館ミナパーク (リアル&Zoom含)
参加費：無料



横浜中央支部

申込みはコチラ

10月15日(木)午後6時30分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
場所：中小企業センタービル
会費：無料



県南支部

申込みはコチラ

10月15日(木)午後6時30分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
報告者：日本水産観光(株) 取締役社長 小澤長幸氏
場所：横須賀市産業交流プラザ (リアル&Zoom含)
会費：無料



横浜北支部

申込みはコチラ

10月29日(木)午後6時30分～

テーマ：自社の現状と課題を語る
報告者：(有)シー・エイチ・コンサルティング
代表取締役 柳 康治氏
場所：加瀬ビル鶴見駅前ホール (リアル&Zoom含)
会費：無料



小田原支部

申込みはコチラ

10月21日(水)午後6時30分～

テーマ：(仮) DXとは？
報告者：(株)応用ソフト開発 代表取締役 鈴木克彦氏
場所：おだわら市民交流センターUMECO
会費：無料



たま田園支部

申込みはコチラ

10月16日(金)午後6時30分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
報告者：(有)デザインスペースマジック
代表 佐藤慎治氏
場所：(中原分会) アルファメディア (高津分会) Natural Art
(多摩分会) SUN FARMERS CAFE (リアル&Zoom含)
会費：無料



【その他のセミナー】

同友会を知る為のオリエンテーション

申込みはコチラ

10月27日(火)午後6時30分～

場所：Zoomミーティング
会費：無料
同友会と私：ぜんち共済(株) 代表取締役 榎本重秋氏 (相模原支部)
※会場は変更の可能性がございますので詳しくはe.doyuをご確認下さい。



川崎支部

申込みはコチラ

10月23日(金)午後5時00分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
報告者：(株)山根工務店 代表取締役 山根 崇氏
場所：川崎市産業振興会館 (リアル&Zoom含)
会費：無料



女性部会

申込みはコチラ

10月29日(木)午前11時00分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
報告者：(株)エナメディカル 代表取締役 伊藤千明氏
場所：オンライン会議システム「Zoom」
会費：無料



県央支部

申込みはコチラ

10月22日(木)午後6時30分～

テーマ：(仮) 経営実践報告
報告者：(有)オクモト工業 代表取締役 奥本敏彦氏
場所：大和市文化創造拠点シリウス
会費：無料



Zoom政策委員会学習会

申込みはコチラ

10月2日(木)午前4時00分～

テーマ：(仮) 弁護士の視点から見た新型コロナウイルス感染症対応策
講師・相談者：LM総合法律事務所 國澤絵里氏 (横浜中央支部)
場所：オンライン会議システム「Zoom」
会費：無料



相模原支部 (町田支部・八王子支部合同例会)

申込みはコチラ

10月28日(水)午後6時30分～

テーマ：百年存続に挑む四代目
変わり続けるパカ社長奮闘記
～豊洲移転を乗り越えて
変化を受け入れコロナ禍を進む～
報告者：東京魚類容器(株) 代表取締役 原 周作氏 (東京同友会)
場所：ぼっぼ町田 (Zoom含む)
会費：リアル参加の方 1,000円 / Zoom参加の方 無料



Zoom政策委員会学習会

申込みはコチラ

10月8日(木)午後4時00分～

テーマ：(仮) 新型コロナウイルス感染症に対応した社内ルール(労務管理)についての学習会
講師・相談者：堀内れい子社会保険労務士事務所
堀内れい子氏 (横浜北支部)
場所：オンライン会議システム「Zoom」
会費：無料





横浜中央支部 報告はコチラ

▼

8月18日(火)午後6時30分～

テーマ：新たな時代をどう切り拓くのか!?
～新会員が熱く語ります!!～

報告者：合同会社システムクリエーション 代表社員 酒井将之氏
ライトムービング 代表 世安光輝氏
(株)for-yuu 代表取締役 宮原勇貴氏
信愛エナジー合同会社 代表 朝比奈 巖氏

場 所：Zoomミーティング



横浜北支部 報告はコチラ

▼

8月28日(金)午後6時30分～

テーマ：仕事は好きだが働くことが嫌い…なので起業しました。

報告者：(株)共栄設機 代表取締役 外田雅樹氏 (横浜北支部)

場 所：加瀬ビル88



たま田園支部 報告はコチラ

▼

8月21日(金)午後6時30分

テーマ：自社PR交流会「同友会でビジネスマッチング! 自社をPRしちゃおう!」

場 所：ユニオンビル



川崎支部 報告はコチラ

▼

8月25日(火)午後5時00分～

テーマ：人が離れる組織 人が育てる組織
～コロナ時代を生き抜くための全社一丸戦略～

報告者：弁護士法人ASK 代表弁護士 伊藤 諭 氏

場 所：川崎市産業振興会館



相模原支部 報告はコチラ

▼

8月27日(木)午後6時30分～

テーマ：1000人30億円を目指して「進化する経営」
～電動車いす経営者の奮闘記～

報告者：(有)パーソナルアシスタント町田
相談役 安藤信哉氏 (相模原支部)

場 所：ユニコムプラザさがみはら&Zoomミーティング



小田原支部 報告はコチラ

▼

8月20日(木)午後6時30分～

テーマ：発展し続ける企業はコロナ禍でも変わらない!!
～社員の自己実現が成長のエンジン～

報告者：(株)カラー 代表取締役 志田真人氏 (横浜中央支部)

場 所：おだわら市民交流センターUMECO&Zoomミーティング



かながわ経営カンファレンス開催

日 時 **2020年11月19日(木)**

午後1時30分受付開始
午後2時00分開会～
午後7時00分閉会

場 所 川崎市産業振興会館
川崎市幸区堀川町66-20
(044-548-4111)

規 模 200名 (内ゲスト50名)
会 費 2,000円

メインテーマ

**「新たな時代の挑戦！」
～デジタルトランスフォーメーションが
社会を変える～**

※デジタルトランスフォーメーション
⇒「ITの浸透が、人々の生活をあらゆる面でより
良い方向に変化させる」

基調報告

テーマ：
**「40億円の借金を返した経営者！
コロナに負けない企業家の決意と
覚悟！」
～あきらめなければ道は拓ける～**

報告者：(株)ユサワフードシステム
代表取締役 湯澤 剛氏
(湘南支部)

分科会

●第1分科会 (相模原支部、経営労働委員会)

テーマ：福祉・工業の連携が会社を変え、地域を変える!?

～社長解任から始まった、新たな挑戦～

報告者：(株)ミナシアホールディングス 代表取締役会長 本庄浩義氏 (相模原支部)

●第2分科会

(たま田園支部、ダイバーシティ委員会、女性部会)

テーマ：「かわさき」を使い倒して新たな時代を切り拓く!!

～川崎市中小企業「働き方改革」モデル事業の実践事例～

コーディネーター：

ストーリー(株) 代表取締役 松尾実里氏 (たま田園支部)

報告者：(有)ホープフル 川崎新田ボクシングジム 会長 新田涉世氏 (たま田園支部)

(株)SOERUTE 代表取締役 山上剛史氏 (たま田園支部)

●第3分科会 (横浜ブロック)

テーマ：「変化を追い風のエネルギーに！」～3人のポジティブ経営～

パネリスト：

社会保険労務士法人・行政書士アーチス 代表 佐藤 出氏 (横浜中央支部)

一般社団法人里海イニシアティブ 理事 富本龍徳氏 (横浜みなと支部)

合同会社社外人事部長 代表社員 長谷川 満氏 (横浜北支部)

●第4分科会 (小田原支部、社員教育委員会、共同求人委員会)

テーマ：この時代を生き抜くための採用・教育とは!?

～経営理念に立ち返り、今、何をすべきかを考える～

報告者：(株)豊栄荘 代表取締役 原 健一郎氏 (小田原支部副支部長)

(株)神奈川機関紙印刷所 代表取締役 横山草太氏 (共同求人委員長)

●第5分科会 (川崎支部、ものづくり広場)

テーマ：DXって何だろう?それって中小企業に必要なの?

～あなたの会社は「現状維持」それとも「変化」どちらを選択するのか?～

ファシリテーター：

(株)応用ソフト開発 代表取締役 鈴木克彦氏 (川崎支部)

新シリーズ

かながわ AREA ネットワーク

第1回 小田原支部

神奈川同友会最小の支部ながら 小田原支部は HOTに活動中!

神奈川同友会には10支部ありますが、「小田原支部」は、今、会員の間で注目を集めるHOTな支部で、新会員の入会数は神奈川同友会の中ではトップクラス!代表理事も輩出しています。

今回から始まった支部紹介の第1回では、小田原支部会員が小田原支部の魅力をご紹介します。

相談が気軽にできる“顔が見える関係”

神奈川県南西端に位置する小田原支部は酒匂川が流れる足柄平野、東は曾我丘陵、西は箱根山、そして南は相模湾に面した、日本屈指の自然豊かな地域にあります。

山の幸・海の幸の両方が楽しめるので食べ物もおいしく、戦国時代には後北条氏の城下町として栄え、江戸時代には小田原藩城下町、東海道小田原宿の宿場町として栄えた歴史的雰囲気溢れる町小田原を中心に活動しています。小田原は、その利便性もあって、住むにも仕事をするにも本当に魅力的な場所。さらに、箱根観光の拠点でもあり、西湘地域の中心的都市としての役割も担っています。

小田原支部の会員数は、35名（男性31名、女性4名。2020年9月1日現在）。アットホームなサイズですが、それだけに、メンバー相互の繋がりが強く、相談事などが気軽にできる“顔が見える関係”が築かれているのが特長です。

他支部も注目する「6人組」方式企画・導入

会員には、IT、園芸、宿泊、介護福祉、建築、飲食、製造、土業、コンサル、運輸、保険等々、多岐にわたる業種の方々が顔を揃えています。介護福祉事業を営み、「日本で一番大切にしたい会社大賞・厚生労働大臣賞」（2016年）を受賞し、現在神奈川同友会の代表理事を務める「株式会社エイチ・エス・エー」代表取締役の田中勉氏も小田原支部に在籍しています。現在、支部長は、Webシステム制作会社「株式会社アシスト・ワン」代表取締役の小林淳一氏。総合記録管理システム「Taskware」をはじめ、クラウドアプリケーション、システム開発、インフラ設計構築など、ITに関わる全ての局面をサポートしている会社です。会員が利用している「同友会活動支援システムe.doyu」を開発・管理している会社でもあります。昨今の例会には、コロナ禍に新しく導入した動画撮影システムを活用し、小田原支部でのZoomとリアルな“ハイブリッド例会”の実施に助力してくれています。それには、他支部から参加した会員から、「テレビ局のよう」と感嘆の声も寄せられています。

会員は小田原市内や近隣で事業を営む方が多いですが、小田原支部の魅力に惹かれて、それ以外でビジネスをされている方も数名在籍



JR小田原駅の改札前の巨大ちょうちん。昨年の台風で破損し撤去されましたが、今年8月末に復活しました。



今年12月にオープン予定の小田原駅東口大型複合ビルの「ミナカ小田原」。ここでは、来年「神奈川経営カンファレンス」の開催が予定されています。



7月の小田原支部例会の様子。Zoomの他、久々にリアル会場（UMECO）でも開催されました。

しています。その中の一人に小田原支部の魅力を伺うと、「自己主張が強い人が多いけれど、実際には相手のことを考えてくれる熱い人が多い支部なので、面白いですよ。」という返事が返ってきました。

現在の活動は、顔が見える活動を大切に、通称「6人組」と呼ばれる地区ごとの小グループ活動も活発に行っています。

来年の神奈川経営カンファレンスは 小田原開催に決定!

小田原支部は、2008年に西湘支部として発足。（それ以前にも小田原支部があった時期があるようですが、解散していました。）設立当初のメンバーは5名。その方々は、今も小田原支部の会員として活躍中です。当時の例会は、小田原箱根商工会議所や小田原市民会館、それに会員の会社の会議室などを使って開催していたそうです。

現在、支部の例会は主に、おだわら市民交流センター（通称 UMECO）で開催されています。小田原駅は新幹線、小田急線、JR東海道線など5つの電鉄が乗り入れており、UMECOはJR小田原駅から徒歩でたった2分の距離。駐車場もあり、他支部からの参加にもとても便利です。

UMECOより手前には「ミナカ小田原」というビルが建設中で、そこでは来年「神奈川経営カンファレンス」の開催も予定されています。小田原支部の例会がリアルで開催されるようになったら、ぜひ気軽に出かけてみてはいかがでしょうか。

担当地域：小田原市、南足柄市、二宮町、中井町、箱根町、松田町、山北町、開成町、湯河原町、真鶴町
支部長：株式会社アシスト・ワン 小林淳一氏
会員数：35名（2020年9月1日現在）

（文/ODCatalyst 本木和子）

キャンペーン対象期間は2021年1月31日（日）宿泊まで

JTBパートナー店

トラベル GoTo キャンペーン

10月から東京都もGoToトラベルキャンペーンに追加されます！

TEL:045-335-1213

株式会社 **とらべるわん**
http://www.travel1.co.jp

とらべるわん 検索
神奈川県知事登録旅行業 2-397
同友会横浜支部会員



経営者のみなさまへ

伝えよう あなたの会社の思い！！



記念誌 広報誌
機関紙... etc

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12
TEL (045) 785-1700 FAX (045) 784-6902

株式会社 神奈川機関紙印刷所

彩時季 10月

(株)アールジャパン

荒岩 理津子

(あらいわりっこ)

(県南支部)

読書の秋、到来！片道1時間15分の自動車通勤タイムは私の「読書」タイムです。と言っても運転しながらなので、実際には「読まず」にスマートフォンアプリ「Audible」を使って「聴いて」います。話題の本や読んでみたかった本など、気になるものはとりあえずダウンロード。1冊4-5時間のものが多いので、約2-3日の通勤で1冊聴き終える感じです。

実際に読んだ方が記憶の定着に良いのだからと思ったりもするのですが、寝前の読書はなぜか同じページを読みながら寝てしまい、全く進まずいわゆる「積読(つんどく)」に。積読ストレスからは解放されました。

私は同じ本を読み返すことが苦手なのですが、なぜか同じ本を繰り返し聴くことは苦ではありません。逆にもう一回聴きたいと思うことが多いのです。

今はラインアップされている本のジャンルも多種多様で、たまに落語を聴いては車の中で一人爆笑なんてことも。「聴く読書」オススメです！



NEW FACE 新会員紹介

	会社名	社内役職	会員名	所属支部	入会日	事業概要	紹介者
1	(有)フェニックス	代表取締役	守田 明	横浜北	2020年8月11日	人事評価サービス提供会社、あしたのチームの代理店	中村暢宏
2	弁護士法人ASK新百合ヶ丘オフィス	弁護士	山岸 敦志	たま田園	2020年8月17日	地域の皆様に向けた企業法務、顧問業務、相続業務サービス	伊藤 諭
3	(株)すでい改善	代表取締役	吉田 拳	相模原	2020年8月17日	Excellに関するコンサルティング	熊澤 斉
4	税理士法人誠和コンサルティング	税理士	浅井 晃一	たま田園	2020年8月19日	税理士業務、経営計画コンサルタント、未来会計コンサルタント	事務局 (HP)
5	浅木克真税理士事務所	所長	浅木 克真	横浜みなと	2020年8月24日	税理士業	吉田俊介

2020年9月1日現在会員数：780名（全国会員数：46,122名）

会員Information

～会員皆様からの情報をお待ちしております～

住所変更

Natural Art(有) 代表取締役 佐々木良司氏(たま田園支部)

旧：川崎市宮前区鷺沼 1-11-4-101

新：川崎市宮前区鷺沼 1-15-16 鷺沼成建ビル101

編集後記

2020年も早くも3ヶ月をすぎました。今月の特集の記事は、「SDGs」の初めの一步の記事が掲載されています。すでに取り組まれている企業の方もいらっしゃいますが目標達成のために私たちの出来ることを考えてこれから一歩ずつ行動していこうと思います。

〈有限会社 テーラーマックス 外木宏明〉



アナログ技術は絶やさない! 日本のものづくりは必ず守る!

栗山社長の想いに、社員も理解を示してくれた。先が見えないことは正直苦しいが、「何とかなる!と社長がいつも笑っていないと会社が暗くなっちゃうでしょ。やるしかないなど社員たちも動いてくれてるよ。」と栗山社長は笑った。

創業からのゆるぎないこだわり

「アナログ技術(汎用旋盤加工)は絶対になくさない!100%守る!」

そう言い切るのは、(株)ケイテックデザイン栗山薫社長だ。ものづくり業界では量産品生産に優れたNC旋盤加工(NC=Numerical Control/数値制御・自動加工)が主流だが、「NCでは微妙な加減ができない。汎用旋盤加工(手動加工)を残さなければ日本のものづくりがダメになる!」と、あくまでアナログ技術にこだわる。今まで自社で受け入れてきたベトナム人技能実習生たちにも、アナログ技術から徹底的に教え込んでいる。

同社は1個から100個までの試作部品加工、精密機械加工に対応しており、他品種小ロットを得意とし、主に自動車部品(エンジンの一部)の試作の受注が多い。基本的に量産対応はしていない。

栗山社長は「顔の見える営業」にもこだわる。連絡があればすぐに駆けつけられる地元密着がモットーで、一番遠い場所でも神奈川県内。現在の顧客は創業当初からの繋がりがほとんどだが、最近は自社ホームページやSNS経由で法人に限らず個人からの問合せも増えている。

いつか独立する! 栗山少年の野望はいかに?

幼少期からのものづくりが大好きだった。そこで、地元大分県日田市の工業高校卒業後、1981年SONY厚木工場の加工部門に入社する。ここでの約12年間、手動の汎用旋盤や汎用フライス盤などを使い試作品制作に携わり、ものづくりの加工技術の基礎を徹底的に学んだ。

その後、平塚のプレス工場勤務を経て、2001年、夢だった独立を果たす。金型の設計やNC関係のプログラムの制作サービスを提供する個人事業主としてスタートした。その3年後には、マシニングセンター1台と汎用フライス盤1台を導入し、社員一人を迎え現住所の工場に移転。2007年に法人化し、



職人魂が宿る!ケイテックデザインの代名詞「アナログ機械ゾーン」

(株)ケイテックデザインを設立した。しかし、船出は決して楽ではなかった。翌年の2008年にはリーマンショックが起り、仕事は激減。当時、ワンマン社長だった栗山社長は、会社の危機的状況に「社員の努力が足りないからだ」ときつく当たった。上手いかなければ人のせいにしていた。その後、なんとか危機を乗り越えたもののワンマンぶりは変わらず、当然、社員の入れ替わりは激しかった。

同友会には完全にやられた!

海外での事業展開が視野にあった栗山社長は、知人に紹介されたベトナム視察ツアーで、たまたま現地で埼玉同友会の例会に参加することになる。これが同友会との出会いだった。

ワンマン社長が「社員を想うこと、人を大切にすることが自分には足りないと感じた」という。

2015年11月神奈川同友会に入会。2016年4月経営指針作成部会48部会を受講した。

「受講してよかったけど、同友会は経営指針受講だけじゃダメ。例会に出てなんぼのもの。色々な社長の話を聞く中で自分のダメな部分が見えてきた。人の話を聞くようになったよ。」

自分が変わったことで徐々に会社が創られていった。だから、コロナ禍で経営が苦しくなった時、真っ先に「社員たちを守らなければいけない」と思った。「なんとか会社は潰さない。だから我慢してくれ。」

次の事業の柱は 「街の機械修理屋さん」

このネーミングも地元密着へのこだわりから生まれたものだ。以前から機械修理の依頼は多く、今後のニーズを察知して商標登録も行った。

「メーカーが対応できず修理する人がいない、でもこの機械がないと仕事ができないという町工場は多い。また、こだわりが強く愛着があり、長く使いたいと思うものを持つマニアたちは世の中にたくさんいる。これらが壊れたときに修理してあげられれば、更に長く使えて喜んでもらえる。こんなに嬉しくて楽しい仕事はない。」

アナログ技術を絶対に残したいという栗山社長の考えと、古いけれどこだわり、愛着あるものを残したい人たちの想いが合致し、共有できるのがこの事業。「スタートしたばかりでまだまだ低空飛行だが、これから伸びると嬉しい。」栗山社長の少年のような眼差しが印象に残る。



「同友会に完全に変えられちゃった!」と笑う栗山社長。
「クマさん」の愛称で親しまれた。

〈取材・文: (同)イーストムーンインターナショナル 卯月由美 / デザイン・レイアウト: (有)デザインスペースマジック 佐藤慎治〉

株式会社ケイテックデザイン・代表取締役 栗山 薫氏は2020年9月4日に急逝されました。機関紙10月号「かながわPOWER」は2020年8月に取材したものです。

1/100mmを 追求し続けた 最高の職人に捧ぐ

2020年9月
神奈川県中小企業家同友会・広報委員会
有限会社マス・クリエイターズ 中林 正幸

栗山 薫さん、「クマさん!」貴方は今どこにいますか、何故そんなにも先急ぐのですか...

クマさんの想い描いた「ものづくりの物語」はまだ始まったばかりではないですか。貴方のこだわったアナログ技術と日本のものづくりの魂をまだまだ語り続けてほしい。

また、遠く離れたベトナムには貴方を父と慕う若い職人がいます。そのベトナムの地に「日本のものづくりの魂とアナログ技術を承継する技術者を育てるための「技術学校」を作りたい」とクマさんらしい夢を語っていましたね。

クマさん! 長い間本当にお疲れさまでした。これからは、日本のものづくりを支える職人たちと、ここに集う中小企業家の仲間たちの未来を遠く空の上から優しい笑顔で見守ってください。そして、どうぞゆっくりお休みください。

心よりご冥福をお祈り申し上げます。

【広報委員】

[横浜中央支部] 中林正幸、網野雅広 | [横浜みなと支部] 野垣博文、 | [川崎支部] | [県央支部] | [湘南支部] | [県南支部] | [小田原支部] | [たま田園支部] 佐藤慎治、鈴崎治男、
松村千代、堤由里恵、今井鉄平 | 本田新市、川崎實智郎、木村亮太 | 外木宏明 | 岡部達彦、天野哲也 | 鈴木 大 | 荒岩理津子 | 小山暢宏、本木和子 | 佐々木良司、卯月由美

表紙/photo: 中林正幸 (有)マス・クリエイターズ / design: 佐藤慎治 (有)デザインスペースマジック

神奈川県中小企業家同友会 | 2020年10月1日発行(月刊) 毎月1回1日発行 編集責任者/中林正幸 発行:神奈川県中小企業家同友会 〒231-0015 横浜市中区尾上町5-80
同友かながわ第419号 | 神奈川中小企業センタービル3F TEL:045-222-3671 FAX:045-222-3672 制作・印刷/株式会社神奈川機関紙印刷所